

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1103 2012年2月号

日頃の「研究成果」を発表

～四国森林・林業研究発表会～

くちやない
四万十市立口屋内小学校の皆さんによる発表、「大好き！わたしたち
のふるさと口屋内～川漁体験をとおして～」

【関連記事3頁】





四国国有林野等所在市町村長連絡協議会

国有林野等所在市町村長連絡協議会を開催

〈企画調整室〉



一月一七日、四国森林管理局において「四国国有林野等所在市町村長連絡協議会」を開催しました。本協議会は、地域社会の連携強化を図り、地域産業の振興、住民福祉の向上に寄与することを目的に開催しているものです。会議には管内七署(所)の

有志協議会の代表世話人である市町村長、新木局長をはじめとする局幹部、林野庁から新島福利厚生室長、矢野施工企画調整室長が出席し、協議会会長である上治馬路村長の議事進行により、「地域における森林・林業再生の取組について」をテーマに意見交換を行いました。代表世話人からは、各有志協議会での議論を踏まえ、次のような要望等がありました。

- 国有林と民有林が共同して路網の開設や鳥獣対策などが可能な箇所のリストアップをお願いしたい。
- シカ、サル、イノシシを始めとする鳥獣被害が深刻である。このことから、落葉広葉樹を植栽して、県民の憩いの森として整備したい。また、山頂部と溪流沿いは広葉樹とし、その間を針葉樹とするモデル林を国として設定してもらいたい。
- 高知県長岡郡大豊町に大型製材工場が進出することとなったが、この工場が必要とされる木材が年間一〇万㎡ということであり、原料確保のため、国有林においても増産を検討して欲しい。
- 四万十ヒノキのブランド化の取り組みとして、四十市内において、市内で産出した木を使用し、地元の大工によって家を建築した場合に補助を行っているが、特に大径材が不足している。森管理署の協力をお願いしたい。
- このような要望や提言について、熱心な意見交換が行われました。森林管理局としても、これらを踏まえ、「森林・林業再生プラン」の実現に向けて、民有林との更なる連携を図り、「国民の森林」として相応しい国有林の管理経営に取り組んでいきます。



四国森林・林業研究発表会を開催



一月二六日、四国森林管理局大会議室において、「平成二三年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

「まず、新木四国森林管理局长から、「今回発表される課題は、造林事業の低コスト化、治山施設の新たな取組みやニホンジカによる食害対策、森林環境教育の取組みなど国民のニーズに応えた幅広い内容であり、発表される方が取り組んでいる課題が、これからの森林づくりなどに反映される

等学校及び高知県立高知工業高等学校から、学習活動の一環として取り組んでいる興味深い発表があり、会場から多くの拍手が送られました。

発表を終え、独立行政法人森林総合研究所四国支所の今富支所長を審査委員長とする審査委員による審査の結果、四国森林管理局长賞として七課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課題、奨励賞三課題）、一般社団法人日本森林技術協会理事長賞及び（財）日本森林林業振興会会長賞としてそれぞれ一課題が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。

山工事等における写真撮影業務について、現場にある施設等を活用した写真撮影の取組みが高く評価されました。



考案されたケーブルクレーン用カメラ (四万十署)



最優秀賞を受賞した 徳満さん(左)、猪迫さん(四万十署)

※今回の発表課題と審査結果は八〜九頁のとおりです。

国有林野事業業務研究発表会

〓二課題受賞〓

《指導普及課》



一月一七日、林野庁において、平成二三年度国有林野事業業務研究発表会（三部門）が開催されました。

今回の発表会には、四国森林管理局から四課題を発表しました。

○森林技術部門では「保育作業の省力化〓下刈・除伐作業の省力化の経過報告〓」を森林技術センターが発表しました。また、「滑床山（通称：三本杭）におけるミヤコザサの植生回復の取り組みについて」を四万十川森林環境保全ふれあいセンターが発表しました。

○森林ふれあい部門で「野

根山街道における森林教室の取組みについて」を安芸森林管理署が発表

し、日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

○国民の森林部門で「みんな

でまろう三嶺の森―NPO・行政・大学の協働による保全活動の事例―」を

三嶺の森をまもるみんなの会と、高知中部森林管理署が共同で発表し、この発表に対しても日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

なお、今回の研究発表会の内容等については、林野

庁において発表集が作成された後、署等へ配布する予定です。

今後とも、森林・林業に対する多様なニーズに対応していくための技術開発等の取組みに期待しています。

日本林政ジャーナリストの会会長賞の受賞者の皆様おめでとうございます。

【森林ふれあい部門】

「野根山街道における森林教室の取組みについて」

（安芸森林管理署）



左側から平松さん、田中さん、益田さん

【国民の森林部門】

「みんなでまろう三嶺の森―NPO・行政・大学の協働による保全活動の事例―」



押岡さん
（三嶺の森をまもるみんなの会）



川口さん
（高知中部森林管理署）



各地のたより



平成二三年度

第二回技術開発

委員会を開催

〈森林技術センター〉

一二月一四日、四国森林管理局において、第二回目の技術開発委員会を開催しました。



第二回技術開発委員会の様子

技術開発委員会は、森林生態学、林木育種、遺

下げた調査・観察等を検討してはどうか。

伝資源、民有林管理経営の専門家等の委員で構成されており、平成二三年度課題の内、中間報告一度課題（天然林におけるス

完了課題報告①「立木密度の変化による林床植生等への影響調査」については、コストのみでなく、材質及び材価等に視点を置いた調査・試験等の検討。

課題（天然林におけるスギ天然更新技術の確立）、完了報告二課題（①立木密度の変化による林床植生等への影響調査、②ニホンジカ囲いわなに関する研究について）と平成二四年度新規開発課題の一課題（囲いわなによる効率的シカ捕獲試験）について審議を行いました。

②「ニホンジカ囲いわなに関する研究」については、二年間での完了は短い、多くの課題の中から掘り下げた調査・観察等を検討願いたい。

委員からは、中間報告課題「天然林におけるスギ天然更新技術の確立」については、天然更新に関わる項目の中からリストアップしたものを掘り

新規課題「囲いわなによる効率的シカ捕獲試験」については、確実に捕獲できる簡易で安価なわなに期待している等の多くの意見が出されました。

トアップしたものを掘り

今回、頂いたこれらの意見等については、今後の技術開発の試験設計調査に活かしていくことと

感謝状の贈呈

山火事を未然に防ぐ

国野管理課

四万十森林管理署

謝状の授与と記念品の贈呈を行いました。

この功績は、平成二二年五月一日、しゃくなげ小屋同好会の森本氏をはじめ八名で四万十森林管理署管内の不入山国有林へアケボノツツジ等の散策登山に訪れ山頂に辿り着いたところ、単独で登山をしていた男性が不注意で起こした失火の発生現場に遭遇、火災は既に、

高知県高岡郡津野町不入山国有林で発生した火災に、危険を顧みず消火作業にあたり鎮火させた「しゃくなげ小屋同好会（代表者 森本光一氏）」に対する林業功績者の表彰式を一月一日に局長室で行い、感

約一〇メートル四方、炎



「しゃくなげ小屋同好会に感謝状贈呈」

は約二メートルの高さまで及んでいたという事です。同好会のメンバーは、危険を顧みず直ちに足で踏みつけ、また、飲み水として携行していた